

中頓別町の

ふるさと納税について



テレビや新聞でよく話題となっている「ふるさと納税」についてご存知ですか。

8月2日に総務省から、令和5年度の各自治体の受入額実績が公表されました。

今月号では、ふるさと納税の制度や、中頓別町のふるさと納税についてご紹介します。

ふるさと納税とは

ふるさと納税は「納税」という言葉がついていますが、都道府県や市町村への「寄附」となります。

一般的に自治体に寄附をした場合、確定申告を行うことで寄附金額の一部が所得税及び住民税から控除されます。しかし、ふるさと納税では、原則として自己負担額の2,000円を除いた全額が控除の対象となります。(全額控除される寄附金額は、収入や家族構成等に応じて一定の上限があります)

ふるさと納税は「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体

を選ぶことができる制度」として創設されました。それぞれの自治体がホームページ等で公開している、ふるさと納税に対する考え方や寄附金の使い道等を確認し、応援したい自治体を選ぶことができます。また、自治体によっては寄附金の使い道を選択できるようになっています。

ふるさと納税により、納税者の税に対する意識が高まり、納税の大切さを自分ごととしてとらえる機会になること、自治体を選んでもらうにふさわしい、地域のあり方をあらためて考えるきっかけへとつながることが期待されています。

ふるさと納税の現状

全国での受入額の実績は、令和5年度で約1兆1,175億円、令和4年度の約1.2倍となっています。ふるさと納税制度が開始された平成20年度の約81億円と比べると、ふるさと納税制度を利用している人が増加していることがわかります。

都道府県別の受入額を見ると、

寄付者が選んだ寄附金の使途

令和5年度に中頓別町へ寄附した方が1番選んだ使途は「豊かな自然環境の保全および活用」で668件でした。続いて「未来を担う子どもの健全な育成と教育」が573件、「地場産業の振興」が165件、「高齢者や障がい者等の医療福祉向上」が142件となっています。

(寄附使途を選ばない「町におまかせ」という選択肢もあります)

使途を選択できる全国の団体を見ると、「子ども・子育て」が1番多く選ばれており、中頓別町で1番多かった「環境」に関するものは5番目となっているため、中頓別町に寄附をした方は特に中頓別町の自然環境に関心があると言えます。

中頓別町のみなさんに お願い

ふるさと納税していただいた方には、中頓別町の魅力が詰まった特産品を贈呈しています。

町外にお住まいのご家族やご親戚、ご友人にぜひ中頓別町のふるさと納税をご紹介します。

中頓別町へのふるさと納税は下記URLもしくはQRコードからご確認いただけます。

URL

<https://www.town.nakatomibetsu.hokkaido.jp/bunya/5274/>



北海道が1番多く、令和5年度は約1,655億円となっています。令和5年度の自治体別の受入額では、上位5団体に北海道の自治体は、紋別市、白糠町、別海町の3団体が入っています。

ふるさと納税を行う人が増えていることで、東京都や神奈川県、大阪府などでは、ふるさと納税による市町村民税の控除額が年々大きくなっていることが問題となっています。住民税は、自治体が行政サービスを提供するために必要な経費をまかなっています。ふるさと納税による減収が続くことで、行

政サービスが低下する可能性があると言われています。

中頓別町の受け入れ状況

中頓別町にも多くの方からあたたかい寄附をいただいています。

令和3年度は65件の寄附で受入額は1,381千円、令和4年度は438件の寄附で3,604千円となっています。令和4年度は北海道の中で下から3番目の受入額となりました。

令和4年度秋頃から新規返礼品の登録や、掲載しているポータルサイトの見直しを行った結果、

令和5年度は2,499件の寄附で受入額は21,060千円となり、令和4年度の約6倍となりました。

中頓別町には、ふるさと納税の返礼品で人気となっている海産物やお肉、お米、果物などを生産していないため、「中頓別町らしい」返礼品を模索しています。

中頓別町の考え

ふるさと納税は「自治体を応援したい！」という、温かい気持ちで成り立っています。

中頓別町としては、現状維持

ではなく、今以上に支援いただけるような自治体を目指して今後も取り組んでいきたいと考えています。

町の観光団体や商工会、まちづくり団体などのご協力のもと、新規返礼品やふるさと納税のあり方について考える「ふるさと納税を考える会」を開催し、意見交換やPR方法のアイデア出しなどを行っています。

中頓別町らしい取り組みを推進できるよう、今後も活動を行っていきます。

中頓別町の返礼品の一部を紹介します



なかとんアイス

なかとん牛乳の優しい味を楽しめる乳
化剤・安定剤不使用のアイスクリームです。



コーヒードリップバック

コーヒー豆、自家焙煎にまでこだわった
専門店のおいしいコーヒーを味わえます。



一石手帳

がま口付きのA5サイズの手帳です。ペン
や眼鏡を収納し一緒に持ち歩けます。



貝化石肥料

中頓別町で採掘した貝化石が原料のミ
ネラルが豊富な環境にやさしい肥料です。



絵はがきセット

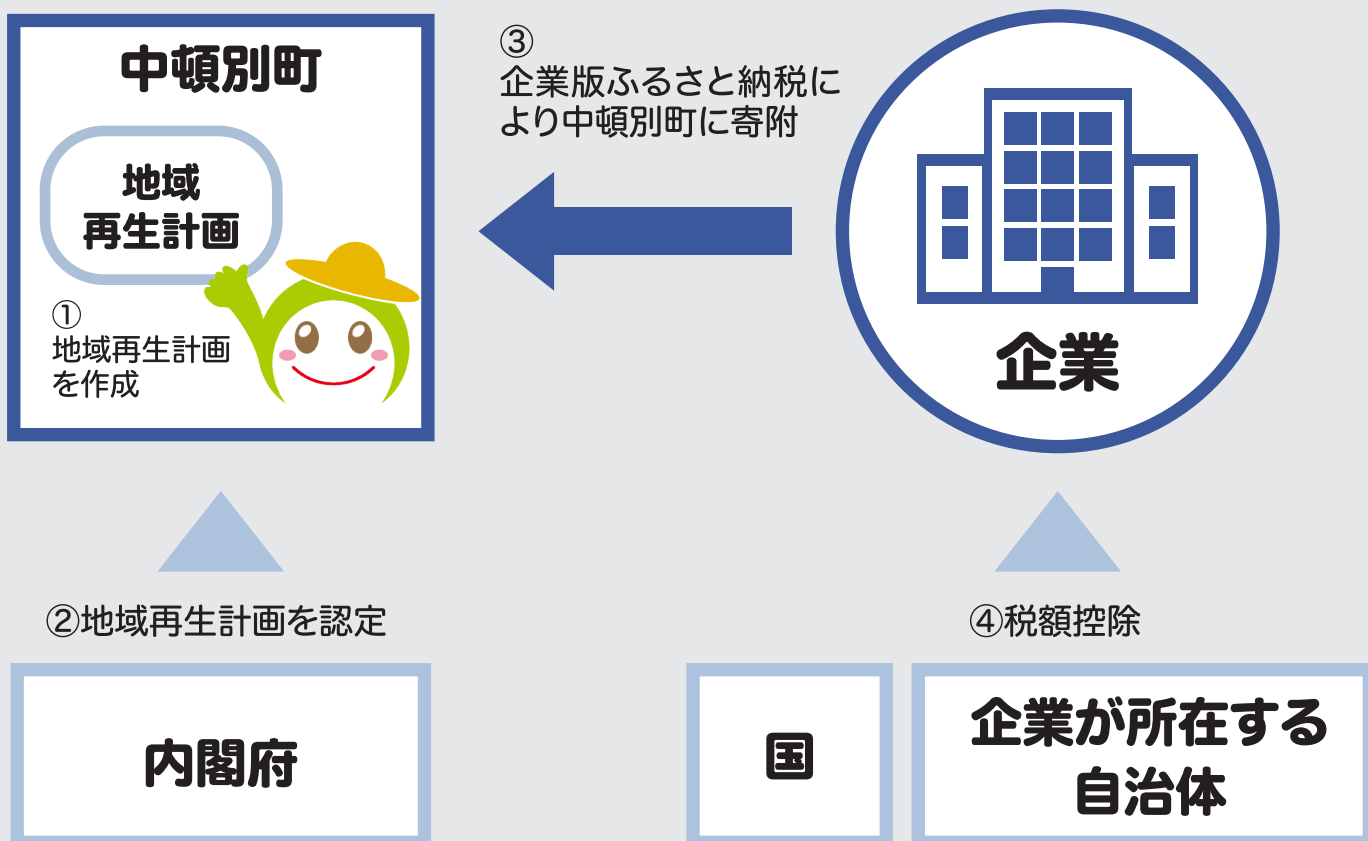
中頓別町の懐かしの風景や高山植物を
描いた優しい風合いの絵はがきです。



スキー場リフトシーズン券

寿スキー場のリフトシーズン券です。
中頓別町の雪を満喫できます。

企業版ふるさと納税について



企業版ふるさと納税受入額

中頓別町では「地域公共交通確保対策プロジェクト」へ、令和4年度に2件、令和5年度に5件で合計10,800千円の寄附がありました。（「中頓別町まち・ひと・しごと創生推進計画」は令和6年3月29日に国から認定を受けたため令和5年度までに受入の実績はありません）



企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税は、正式な名称は「地方創生応援税制」といいます。国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みで、平成28年度税制改正により創設され、令和2年度に制度の拡充・延長がなされました。1回あたり10万円から寄附が可能で、寄附額の約9割が軽減されます。本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外となっており、寄附企業への経済的な見返りは禁止されています。個人で行うふるさと納税と異なり、返礼品はありません。

中頓別町の地方創生プロジェクト

中頓別町では、2つの地域再生計画が国から認定されています。

「地域公共交通確保対策プロジェクト」は、町主体のデマンドバス及びスクールバスを整備し、町民が安心して生活できるよう地域交通を確保するものです。

「中頓別町まち・ひと・しごと創生推進計画」は、子育て支援や就業支援などの取り組みを行い、「働きたい」「暮らしたい」まちとして選ばれる中頓別の実現を推進していくものです。

令和4年度に地域再生計画が認定されたため、企業からもあたたかい寄附をいただいています。